評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成 20 年 1 月 2 4 日

| 事美 | 業所番 | | 2772403916 | 評価機関名 | 特定非 | 営利済 | 舌動法 | 人 | | | |
|-----|---------------|-----|-----------------|-------|-----|-----|-----|--------|---------|--------|-----|
| 法 | 人 | 名 | 有限会社 介護福祉協会 | | 近畿マ | ネジ | メント | ・サオ | ⊰ート | ・センク | ター |
| 事 | 業 所 | 名 | グループ ホーム さち | 所 在 地 | 大阪市 | 東住 | 吉区山 | ↓坂 5 - | - 5 — j | 14 - 1 | 103 |
| 所 | /: | HH. | 大阪府枚方市釈尊寺町3-38 | 評価調査日 | 平成 | 20 | 年 | 1 | 月 | 19 | 日 |
| ולא | 1工 | 邛巴 | 電話 072-860-2200 | 評価確定日 | 平成 | 20 | 年 | 1 | 月 | 27 | 日 |

【情報提供票より】(平成20年1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

4

| () / 小旦小成1 | 姚 女 | | | |
|-------------|------------|-------|--------------|-------|
| 開設年月日 | | - | 平成17年8月1日 | |
| ユニット数 | 2 | ユニット | 利用定員数 | 18 人 |
| 職員数 | | 常勤 4人 | 非常勤 8 人 常勤換算 | 5.6 人 |

| (2)建物概要 | | | | | | | | |
|---------|--------|-----------|--|--|--|--|--|--|
| 建物の | 木造瓦 | 造り | | | | | | |
| 構造 | 2 階建ての | (1階~2階部分) | | | | | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| 家賃 (平均月額) | 50,000円 その他の | 経費(月 | 額 25,000 | 円) | | | | |
|------------|--------------|------|----------|----|--|--|--|--|
| 敷 金 | 無 | | | | | | | |
| 保証金の有無 | 有 500,000 | | | | | | | |
| (入居一時金を含む) | 1年目以降は20万円 | 返却 償 | 賞却の有無 | 有 | | | | |
| | 朝食 円 | 昼食 | F | | | | | |
| 食材料費 | 夕食 円 | おや | つ 円 | | | | | |
| | または1月当たり | | 45,000 円 | | | | | |
| | | | | | | | | |

| | (4)利用者の概要 (12月22日現在) | | | | | | | |
|---|------------------------------|------|-------|----------|--|--|--|--|
| | 利用者人数 | 18 名 | 男性 4 | 名 女性14 名 | | | | |
| | 要介護1 | 5名 | 要介護 2 | 2名 | | | | |
| | 要介護3 | 7名 | 要介護4 | 3 名 | | | | |
| ı | 要介護 5 | 1名 | 要支援2 | 名 | | | | |
| 1 | 年齢 平均 | 80 才 | 最低64 | 才最高96才 | | | | |

(5)協力医療機関名

医療法人昭征会坂野病院 なかみどり細川歯科

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

職員の定着率は昨年に引続き良好で、家族の転勤による退職以外はなく, 殆どの職員が開設当時からの 方々であり、内外の研修も定期的に行われているので、介護のレベルの向上は期待できる。又、利用者 の看取りでの個別記録を昨年から引続き実施しているので、この積み重ねがケアの改善に結びついてい る。日常生活の介護は、どの職員も一人ひとりの症状や能力に応じて適切な対応ができている。

「重占項目への取り組み供源」

| 【重点項目への取り組み状況】 | | | | | | |
|----------------|--|--|--|--|--|--|
| | 前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) | | | | | |
| | 利用者一人ひとりについて、過去からの生活習慣、気質等の把握が忍耐強く行われ、会話、看取り等によって記録の積み重ねが進められている。日常生活での身体活動の援助は、地道に実施 | | | | | |
| 重 点 | されつつある。鍵かけは、玄関ドアから外はすぐ階段という建物上の難点があり、職員全員が一 | | | | | |
| 項 | 番の関心箇所となっており、防災上からも検討が行われている。 | | | | | |
| 目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) | | | | | |
| 1 | 施設長を含む職員同志の人間関係が良好で、施設長は前回評価後の新任ではあるが、人間関係 を含め業務の引継ぎも問題なくできており、引続き同様の介護を行いながら今日に至っている。 今回の自己評価も職員の発言と提案をもとに作成された。 | | | | | |
| 重 | 運営推進会議の主な討議内容、及びそれらを活かした取組み(関連項目:外部4.5.6) | | | | | |
| 点項目② | 地域包括センターの指導もあり、平成18年7月以来、平成19年12月までに8回開催されている。討議内容は、グループホームの日常介護の状況説明、利用者の日々の生活状況等であったが、最近は、出席者相互の提案等が、主な検討項目となってきている。 | | | | | |
| 重 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7.8) | | | | | |
| 点項目③ | 家族アンケートでは、ほぼ、ご満足頂いており、特にご不満はなかった。定期的に個人の短信 も郵送しており、またイラスト入りのホーム便りも郵送している。来訪時には職員が話し合いを 行っている。但し、投書箱、書き込みノート等もあるが、利用されないままになっている。 | | | | | |
| 重 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) | | | | | |
| 点項目④ | ホームも自治会に加入している。利用者との散歩の途中で、通りがかりの地域の方々との挨拶 や立ち話を行い、地域の行事等に参加させてもらっている。近隣からの通勤職員による地域との 交流も行われている。 | | | | | |

(翻翻 部分は重点項目です) 取り組みを期待したい項目 取り組みの事実 取り組みを期待したい内容 項 目 部己 (実施している内容・実施していない内容) (すでに取り組んでいることも含む) 理念に基づく運営 1 理念と共有 ○ 地域密着型サービスとし ての理念 経営主体は、認知症の高齢者 地域の中で、その人らしく と家族の方々に、安価で良質の 暮らし続けることを支えて 1 1 介護と安心とを目標とした、独 いくサービスとして、事業 自の理念を掲げている。 所独自の理念をつくりあげ ている ○ 理念の共有と、日々の取 管理者は理念の実践に向け り組み て、毎日の職員の会合等で、理 2 2 管理者と職員は、理念を共 念の共有を図っている。 有し、理念の実践に向けて 日々取り組んでいる 地域との支えあい ○ 地域とのつきあい 自治会に加入しており、地域 事業所は孤立することなく の運動会、盆踊りなどに参加さ 地域の一員として、自治会、 3 5 せてもらっている。日頃の散歩 老人会、行事等の地域活動 の途中での挨拶を交わしてい に参加し、地域の人々と交 る。 流することに努めている 理念を実践するための制度の理解と活用 ○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、 経営理念の展開のためにも、 自己評価及び外部評価を実 自己評価と外部評価の意義を理 7 4 |解して、日常の活動の改善を 施する意義を理解し、評価 図っている。 を活かして具体的な改善に 取り組んでいる ○ 運営推進会議を活かした 取り組み 平成18年7月より2ヵ月毎 運営推進会議では、利用者 地域自治会と連携を図り、グルー に19年12月までに8回開催 プホームの活動の理解を、よりよく やサービスの実際、評価へ するために、広くPRを進められる して来た。その都度、出席者で 8 \bigcirc 5 の取り組み状況等について、 質疑を行ってサービスの改善に よう検討してください。 報告や話し合いを行い、そ 活かしてきた。 こでの意見をサービスの向 上に活かしている ○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と 地域包括センターとの交流が 運営推進会議以外にも行き 9 6 あり、主催される地域交流会に 来する機会をつくり、市町 も出席している。 村とともにサービスの質の 向上に取り組んでいる 理念を実践するための体制 豕胅の木切时には、 ○ 家族等への報告 付き添って、話合いで現状報告 事業所での利用者の暮らし 等を行ない、また以前の生活内 ぶりや健康状態、金銭管理、 容等の聞き取りもしている。 14 職員の異動等について、家 ホームだよりや手書きの短信 族等に定期的及び、個々に を、請求書に同封するなど行っ あわせた報告をしている ○ 運営に関する家族等の意 見の反映 運営推進会議や家族の来訪時 家族等が意見、不満、苦情 に、意見等を伺うようにしてい 15 を管理者や職員ならびに外 る。投書箱や自由に書き込める 部者へ表せる機会を設け、 ノートも設置してある。 それらを運営に反映させて

| 外 | 自 | 項目 | 取り組みの事実 | | 取り組みを期待したい内容 |
|----------|--------------|---|--------------------------------------|----------|------------------------|
| 沿 | 己 | ○ 職員の異動等による影響 | (実施している内容・実施していない内容) | 印 | (すでに取り組んでいることも含む) |
| | | への配慮 | | | |
| | | 運営者は、利用者が馴染み の管理者や職員による支援 | 開設以来2年以上になるが、 | | |
| 9 | 18 | を受けられるように、異動 | 退職者は僅かで、勤続は安定 | | |
| | | や離職を必要最小限に抑え | し、職員の顔ぶれは殆ど変わっ ていない。 | | |
| | | る努力をし、代わる場合は、 | | | |
| | | 利用者へのダメージを防ぐ 配慮をしている | | | |
| <u> </u> | 5 | 人材の育成と支援 | | 1 | I |
| | | ○ 職員を育てる取り組み | 内外の研修会へ職員を出席さ | | |
| | | 運営者は、管理者や職員を 段階に応じて育成するため | せている。内部研修は定期的に | | ┃ ┃ 職員の研修計画については、研修 |
| 10 | 19 | | 実施している。各職員を担当制 | | 実績を把握しながら、全員のレベル |
| | 1.0 | 研修を受ける機会の確保や、 | により責任を負わせ、各種行事 等の実施については、研修を兼 | | アップへと推進してください。 |
| | | 働きながらトレーニングし | ねて実施している。 | | |
| | | ていくことを進めている ○ 同業者との交流を通じた | | | |
| | | 向上 | | | |
| | | 運営者は、管理者や職員が | 運営推進会議を通じて地域の | | |
| 11 | 20 | 地域の同業者と交流する機 会を持ち、ネツトワークづ | ホーム関係者との交流が一部行 | | |
| | 20 | くりや勉強会、相互訪問等 | われている。今後更に深めるよう検討されている。 | | |
| | | の活動を通じて質を向上さ | り換削されたいる。 | | |
| | | せていく取り組みをしている | | | |
| Ш | 天 | <u>□ ◎</u> ♂心と信頼に向けた関係づくり | l と支援 | | |
| _ | | 相談から利用に至るまでの関 | | | |
| | | ○ 馴染みながらのサービス 利用 | | | |
| | | 本人が安心し納得した上で、 | | | |
| l | | サービスを利用するために、 | ご家族とも相談しながら、無 | | |
| 12 | 26 | サービスをいきなり開始す るのではなく、職員や他の | 理強いすることのないよう進めている。 | | |
| | | 利用者、場の雰囲気に徐々 | | | |
| | | に馴染めるよう家族等と相 | | | |
| | | 談しながら工夫している | | | |
| | 2 | <u>新たな関係づくりと、これま</u> ○ 本人と共に過ごし、支え | での関係継続への文援 | I | |
| | | あう関係 | 職員一同には、利用者を目上 | | |
| | | 職員は、本人を介護される | 職員 同には、利用者を日工 の方として尊敬の対話と、人間 | | |
| 13 | 27 | 一方の立場におかず、一緒 に過ごしながら喜怒哀楽を | 関係を深めるよう配慮してい | | |
| | | 共にし、本人から学んだり、 | る。 | | |
| | Щ | 支えあう関係を築いている | | | |
| Ш | | たの人らしい暮らしを続けるた ートひとりの世場 | めのケアマネジメント | | |
| | \vdash | 一人ひとりの把握○ 思いや意向の把握 | 介護の改善のために本人との | | |
| | | | 対話を重視し、見聞した事項は | | |
| 14 | 33 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 本人の情報ファイルに記録でき | | |
| | | めている。困難な場合は、 | るように、組織として取り組んでいる。 | | |
| | <u></u> | 本人本位に検討している 本人がより良く暮らしを続ける | C | <u> </u> | |
| | $\bar{\Box}$ | ○ チームでつくる利用者本 | | | |
| | | 位の介護計画 | 本人の介護記録の積み重ねが | | |
| | | 本人がより良く暮らすため の課題とケアのあり方につ | 出来つつある。計画の見直し | | |
| 15 | 36 | いて、本人、家族、必要な | は、それらの記録と職員の合意 | | |
| | | 関係者と話し合い、現状に | とで改善案を作成し、ご家族と 相談している。 | | |
| | | 即した新たな計画を作成している。 | | | |

3/4

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 | 印 | 取り組みを期待したい内容 (オズに取り組みを現るしなる) |
|----------|-----------------|---|---|------------|------------------------------|
| 司 | | ○ 現状に即した介護計画の | (実施している内容・実施していない内容) | H1 | (すでに取り組んでいることも含む) |
| | | 見直し | | | |
| | | | 介護記録を元に、6ヶ月に限 | | |
| | | 直しを行うとともに、見直 | らず職員との話し合いから、必 | | |
| 16 | 37 | | 要な改善案を作成して、ご家 | | |
| 1 | 0. | | 族、関係者と相談の上決めてい | | |
| | | 族、必要な関係者と話し合 | る。 | | |
| | | い、現状に即した新たな計 | | | |
| | | 画を作成している。 | | | |
| | 3 | 多機能性を活かした柔軟な支 | 援 | | |
| | | ○ 事業所の多機能性を活か | | | |
| | | した支援 | 運営者が福祉関係の事業を別 | | |
| 17 | 39 | | 途に展開しているので、それら | | |
| | | 時々の要望に応じて、事業 | を含めて事業所として、柔軟な | | |
| | | » · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 支援を実施している。 | | |
| | \bigsqcup_{1} | 軟な支援をしている 本人がより良く暮らし続ける | ための地域姿源しの投 顔 | | |
| | - | ○ かかりつけ医の受診支援 | ための地域負源との励割 | I | |
| | | 本人及び家族等の希望を大 | 殆どの利用者が事業所の契約 | | |
| | | | 医療機関に合意してもらってい | | |
| 18 | 43 | | る。必要な治療が必要な場合 | | |
| | | | は、支援を実施できる体制にあ | | |
| | | 治療を受けられるように支 | る。 | | |
| | | 援している | | | |
| | | ○ 重度化や週末期に向けた | | | |
| | | 方針の共有 | 入居者の加齢にしたがって、 | | |
| | | 重度化した場合や、終末期 | 重度化や終末期は、当然のこと | | 組織として方針を決定し、また職 |
| 19 | 47 | のあり方について、できる | として準備や話し合いを行って | \bigcirc | 員と話し合って共通理解が持てるよ |
| | | だけ早い段階から本人や家 | いるが、具体化までには至って | | うに、準備を進めてください |
| | | 族等ならびに、かかりつけ 医等と繰り返し話し合い、 | いない。 | | |
| | | と | | | |
| W | 7 | 一生貝(カッセ共行している) | L めの日々の支援 | <u> </u> | |
| | | その人らしい暮らしの支援 | .,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | |
| | (1 | 1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| | | ○ プライバシー確保の徹底 | | | |
| | | 一人ひとりの誇りやプライ | プライバシーの確保について | | |
| 20 | 50 | | は、個々の知識として理解して | | |
| | | かりや対応、記録等の個人 | いても、組織としての動きになるように研修している。 | | |
| | | 113 116 3 106 3 106 1 2 3 1 3 1 | るようにហじている。 | | |
| \vdash | | い ○ 日々の、その人らしい暮 | | | |
| | | らし | | | |
| | | 職員側の決まりや都合を優 | 一人ひとりの生活リズムや気 | | |
| 0.4 | | 先するのではなく、一人ひ | 質を尊重し、見取りや発見した | | |
| 21 | 52 | とりのペースを大切にし、 | 言動記録を元に、出来る機能を | | |
| | | その日をどのように過ごし | 活かしてあげるよう配慮されている。 | | |
| | | たいか、希望にそって支援 | ('る。 | | |
| | | している | | | |
| | (2 | 2) その人らしい暮らしを続け | るための基本的な生活の支援 | ı | |
| | | ○ 食事を楽しむことのでき | | | |
| | | る支援 食事が楽しみなものになる | 個人毎に出来る範囲で、食事 | | |
| 99 | 54 | | 個人母に田米る靶囲で、長事 の手伝いを行ってもらってい | | |
| 22 | 01 | 力を活かしながら、利用者 | る。 | | |
| 1 | | と職員が一緒に準備や食事、 | | | |
| | | 片付けをしている | | | |

4/4

| (またいの物が多数になっていることを含む) (またいの物が多数にいるのがある 1 (またいの物が多数にいるのがある) 1 (またいのかが多数にからかがある) 24 (29 を過ごせるように、一人の企りの全活歴や力を持った力の社会的な生活の力を強力した。 (またいの大変とした、 | 外 | 自 | 項目 | 取り組みの事実 | \bigcirc | 取り組みを期待したい内容 |
|---|----------|-----|----------------|---------------------------------|------------|--------------------------------------|
| | 部 | | , , , , , | (実施している内容・実施していない内容) | 印 | (すでに取り組んでいることも含む) |
| ### ### ### ### ### ### ### ### ### ## | | | | | | |
| 23 87 で決めてしまわずに、一人 | | | | 原則的な入浴日はあるが、本 | | |
| (3) その入らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | 23 | 57 | で決めてしまわずに、一人 | 人の希望に沿い、入浴しても | | |
| 3 その人もしい等しと続けるための社会的な生活の支援 | | | | らっている。 | | |
| ○ 秋朝、東しみごと、気晴 分割・の社会的な生活の支援 ○ 秋朝、東しみごと、気晴 日の支援 乗り合いや声にのある日本 参加ごせるように、一人の とりの付信能や力を信かした役割、単しみごと、気晴 もしの支援をしている。 ○ 口 電前の本外出支援 事業所の中だけで過ごさず 希望に沿ってわらったりしている。 ○ 口 電前の本外出支援 事業所の中だけで過ごさず 新聞に沿ってもらったりしている。 ○ 理者を好で全で取職員が 日報というでいる。 安全としたの事者を理性して おり、鍵をかけないケアの要接 上海の大きつ葉砂している。 安全上、已か無く 対したとの事者を理性して おり、鍵をかけないケアの要接 上海の大きの大きのでいる。 安全上、已か無く 対の、建をわけないケアで、 東別別ルでいる。 でいる。 安全上、已か無く 対の、建をかけないケアで、 東別別ルでいる。 「多書を開いて対したのの。 「多書を開いて、下で、「おり、鍵を対けないケアで、「大きを常に念頭において、「大きを関している」。 「多書を開いている」 一次書を常に念頭において、「大きを関している」 一次書を関いている。 「海野できる方法を身にしている。 「海野できる方法を身にしている。 「大きの大きのでは、「大きの大きのでは、「大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大 | | | | ! | | |
| ○ 代謝、楽しみごと、気病 | | (3) | | 」 らための社会的な生活の支援 | | |
| あしの支援 | Г | (0) | |) たは) (7年 安日) (6 工 / ロ (7 天) 及 | | Γ |
| 24 59 | | | らしの支援 | 本 胡せかえとした個生してい | | |
| 24 09 を増加上を行うとしている | | | | | | |
| | 24 | 59 | | | | |
| Sしの支援をしている | | | | | | |
| ○ 日常的な外出支援 | | | | | | |
| 25 61 に、一人ひとりの、その日 か希望にそって下外に出か 付られるよう支援している 2階ともドアからすぐに階段と 運営者及び全ての職員が、居室や日中 立関は産か 1 2階ともドアからすぐに階段と 2階ともドアからすぐに路段と 2階ともドアからすぐに階段と 2階ともドアからすぐに階段と 2階ともドアからすぐに階段と 2階ともドアからすぐに略段と 2番とかけないる。 3番がたを収容している。 3番がをを収容している。 3番がをを収容している。 3番がをを収容している。 3番がをを収容している。 3番がをを収容している。 3番がの大変を関いまするようともに、日間、台所、食団に応じた支援をしている 2を養けるための健康面の支援 2を養けるための健康面の支援 2を表すが一般を通じに応じた支援をしている 2を表すが一般を通じに応じた支援をしている 2を表すが一般を通じに応じた支援をしている 2を表すが一般を通じに応じた支援をしている 2を表すが一般を通じに応じた支援をしている 3を表がしている。 3を表がしている。 3を表がしている。 3を表がしておられる様子だった。 3を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 3を探り入れて、居の地よく過ごせるような工夫をしている 2を記すが一般を表すが一般を表すが一般を表するような、 3を記するような工夫をしている。 3を記するような工夫をもおもなどないている。 3を記するようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどのようなどの | | | ○ 日常的な外出支援 | | | |
| の希望にそって戸外に出か けられるよう支援している。 | | | | | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | 25 | 61 | | | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | ం | | |
| ○ 離左がけないケアの実践 建物の構造が、表玄関、1・ 2階をも下からすぐに階段と 2階をも下からすぐに階段と 2版とも下がらすぐに階段と 2版とも下がらませいる。安全上、已む無く 2版とも下がらませい。 2版とかけることの弊害を理解して 2版 2版とを常に念頭におい で、 2版 2版 2版 2版 2版 2版 2版 2 | <u> </u> | (/ | | <u> </u> | | |
| 26 66 居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一 | | | ○ 鍵をかけないケアの実践 | | | |
| 25 10 10 10 10 10 10 10 1 | | | | | | |
| おり、鍵をかけないケアに 取り組んでいる。 | 26 | 66 | | | \circ | |
| 取り組入でいる | | | | | | (\ /c & v · |
| ○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者 が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 ○ ※養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス。大分量が一日できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている 2 その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 マニューは事業所の専門職によるが、外食も実施して楽しんでもらっている。 2 その人らしい暮らしを表すといって、職力の生態を力、習慣に応じた支援をしている (1) 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい環境が入り ○ 居心地よい環境が入り ○ 居心地よい環境が入り ○ 居心地よい環境が入り ○ 居心地よい環境が入り ○ 居心地よく過ごせるような工夫をしている。 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好ないまられた。 | | | | | | |
| お歌離できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | | | ○ 災害対策 | | | |
| 27 71 が避難できる方法を身につけ、 方がたを収容している。消防訓練をできる方法を身につり、 おかき得られるよう働きかけている。 10 その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 ○ 栄養摂取や水分確保の支援食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保より食材とともに供給されているが、リクエストによる食事状態や力、習慣に応じた支援をしている 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり 居心地のよい環境づくり | | | | 避難を念頭に、1階に重度の | | \rightal + L - L - コロシャトケ)) \ ア ロウ |
| け、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 ② 業養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保 より食材とともに供給されているが、少クエストによる食事やきるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい現用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって来しれる様子だった。壁には季節感のある飾りがされている。共用スペースで畳敷の場所もあったが、椅子でくって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 「日心地のよい現場では、当時では、「日本のといまのでいる。」 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮がされている。 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮がされている。 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮がされている方が多かった。温度、いた。 利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた。 利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた。 「日本のといまのは、「日本のといまのでは、「日本のより、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のといまのでは、「日本のようにより、「日本のといまのでは、「日本のは、「 | 97 | 71 | | 方がたを収容している。消防訓 | | |
| (いる) (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 ○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保のできるよう、一人ひと肉の状態や力、習慣に応じた支援をしている 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい共用空間づくり ○ 居心地のよい共用空間づくり ・ 大月の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食関、旅宮、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 83 83 83 84 おようなに関いている。 (本本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好 | 41 | 11 | | | \cup | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | ている。 | | |
| ○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、 水分量が一日を通じて確保 できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支 援をしている 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい環境づくり (1) 居心地のよい現用空間 くり 共用の空間(玄関、廊下、 居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)は、利用者にとって来快な音や光が点とうに配慮し、生活感や季節 感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている (1) 居心地よく過ごせるような工夫をしている (2) 日の地よく過ごせる居室の配慮 (2) 日の地よく過ごせる居室の配慮 (3) 日の地よく過ごせる居室の配慮 (3) 日の地よく過ごせる居室の配慮 (4) 日の部屋 (4) 日の部屋 (5) 日の市区 (5) 日の市区 | | | | 7 | | |
| 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの大態をして終しして楽しんでも | | (; | | 1 | | Γ |
| 28 77 ボ分重か一日を埋して催保 できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支 | | | | / 一ユーは事業別の号門職に | | |
| できるよう。一人いをりの 状態や力、習慣に応じた支 接をしている。 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好 | 28 | 77 | 水分量が一日を通じて確保 | | | |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい共用空間づくり ・ 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好 ・ オート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | じさるより、一人ひとりの | | | |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり (1) 居心地のよい環境づくり ○ 居心地のよい共用空間づ くり 共用の空間(玄関、廊下、 居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感のある飾りがされている。共用スペースで畳敷の場所もあったが、椅子でくっろいでいる方が多かった。温度、明るさ等への配慮がされていた。 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好でおられた。 30 83 利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた。 ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 「日本の地よく過ごせる店室の配慮がされている。共用スペースで畳敷の場所もあったが、椅子でくっろいでいる方が多かった。温度、明るさ等への配慮がされていた。 ○ 居心地よく過ごせる店室の配慮 「利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた | | | | らっている。 | | |
| ○ 居心地のよい共用空間づくり 利用者の皆さんは、皆、にこや 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好 利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしておられた 1月番の居室は自由に持込んだまりにある様子だっ 1月番の居室は自由に持込んだまりにある様子だっ 1月番の居室は自由に持込んだまりにある 1月番の居室は自由に持込んだまりにある 1月番の居室は自由に持込んだまりにある 1月番の居室は自由に持込んだまりにある 1月番の居室は自由に持込ん | | | その人らしい暮らしを支える: | 生活習慣づくり | • | |
| 29 29 81 大 | _ | (1) | | T | | |
| 共用の空間(玄関、廊下、 おに過ごしておられる様子だっ 居間、台所、食堂、浴室、 | | | | 利用老の比さんけ 比 にこめ | | |
| E間、台所、食堂、浴室、 | | | | | | |
| 29 81 | | | | | | |
| つて不快な音や光がないよ うに配慮し、生活感や季節 感を採り入れて、居心地よ く過ごせるような工夫をし ている | 29 | 81 | | | | |
| 感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好がら、使い慣れたものや好でおられた | 20 | 01 | | | | |
| (過ごせるような工夫をしている | | | | | | |
| ている | | | | | | |
| 83 の配慮 おら、使い慣れたものや好 利用者の居室は自由に持込んだ家具類で、居心地よく過ごしがら、使い慣れたものや好がられた。 | | | ている | | | |
| | | | | | | |
| 30 83 は、本人や家族と相談しな | | | | | | |
| 30 83 がら、使い慣れたものや好 た家兵類で、店心地よく過ごし | | | | | | |
| | 30 | 83 | | | | |
| みのものを活かして、本人 *********************************** | | | みのものを活かして、本人 | CA 540/C. | | |
| | | | | | | |